

○農業振興地域整備計画特別管理・農地利用状況調査説明会
(京都府船井郡京丹波町和知地区連絡会議)(第3回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

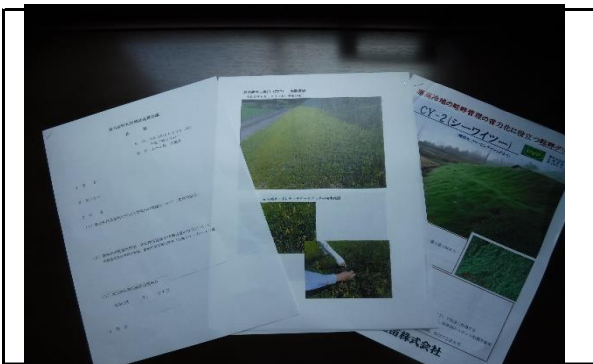
遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農振整備計画見直し・プラン策定説明)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年7月25日
- 場 所: 和知林業センター
- 出 席 者: 農業委員4人・最適化推進委員7人
和知地域各区長、農家組合長 京丹波町
農林振興課他
- 報 告 者: 塩 貝 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 京丹波町の木阿川に位置し国道27号が縦貫しており、綾部、舞鶴、福井方面への幹線道路
- 農耕地の殆んどが中山間農地でほ場整備はされているが一戸当たりの経営規模は小さい
- 丹波黒大豆、丹波くりの生産地である

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農業振興地域整備計画特別管理
 - ・平成17年3町合併により整備計画が統合された「京丹波町農業振興地域整備計画」は平成26年に見直しを実施したが、その後5年が経過することから見直しを行う
 - ・中山間地域直接支払いや、多面的機能の交付金などとの整合も図りながら見直しを進める
- 京力農場プラン(ひと・農地)
 - ・中間管理事業法の改正に伴いプランの実質化を求められていることからこれを機にプランの作成や見直しを進め、農地利用の最適化の推進を図る
- 農地利用現況調査を実施するにあたり説明

4 活動結果

- 情報・意見交換 2 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援